

何があってもおそれず、ひたむきにまっすぐ進む（努力する）こと

令和3年3月4日(木)
豊田中学校 第1学年
学年通信 第46号
文責 渥美 直和

一往直前

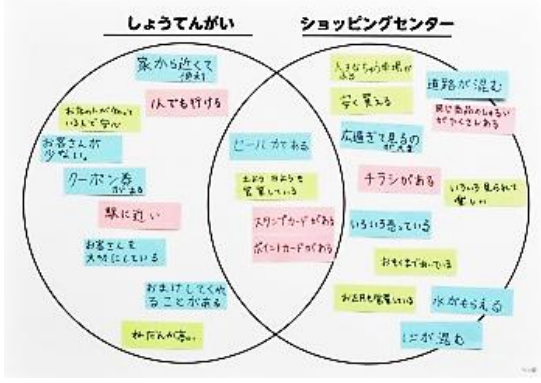
思考ツールの活用のススメ

インターネットをはじめ、モバイル端末の普及、ビッグデータやAI（人工知能）の活用など、社会のデジタル化やグローバル化が進み、5年後、10年後の予測が付かないほど、社会は急速に変化を続けています。文科省の新しい「学習指導要領」では、未来の社会の変化を見据えて、子どもたちがこれから生きていくために必要な「学びに向かう力、人間性など」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。そのような中、自分で深く考えたり、他と考えを共有したりするのに適しているのが「思考ツール」と呼ばれるものです。頭の中にあるたくさんの情報や考えを、型の中に流し込むように書き出すことで「見える化」され、考えを整理したり、考えを増やしたりすることができるようになります。実は、来年度から全生徒に「Chrome Book」というネットPCが配付される予定ですし、今後、思考ツールをアプリとして電子上で簡単に使えるようになるという話もあります。

思考ツールは以前からありましたが、電子上でなくても、普段のノート記入の中に取り入れていけば使えるものなので、生徒の皆さんは今のうちからやり方を覚え、できるものから取り入れてみると学習により効果が出ると思いますのでいくつか紹介します。

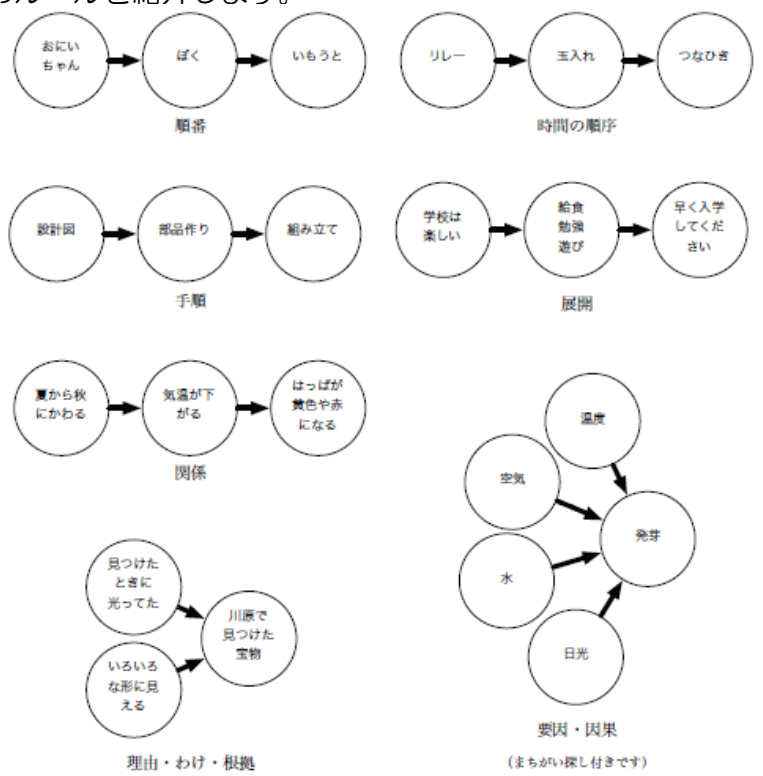
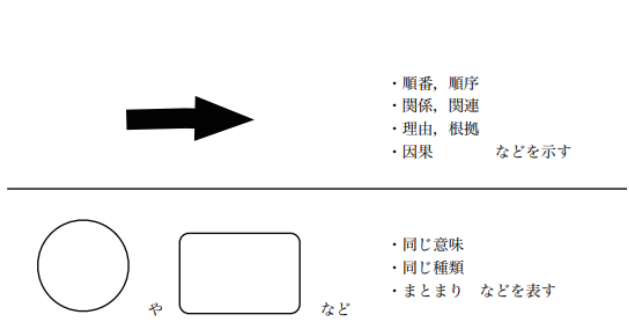
まず、思考ツールのよさを挙げてみます。

- ① アイディアや問題を視覚化するため
- ② 考えや情報を整理するため
- ③ 考えをすぐにフィードバックするため
- ④ 学んだこと同士のつながりを明確にするため
- ⑤ 意見を友達同士で共有するため
- ⑥ 知識を新しく作り上げるため
- ⑦ 考えを評価するため



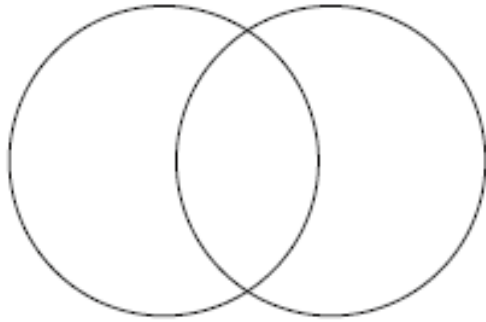
次に、いくつかの思考ツールとその書き方のルールを紹介します。

矢印と囲み

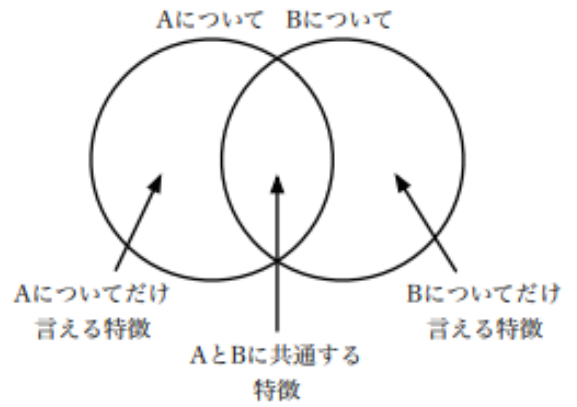


こちらの応用でポンチ絵（概念図）というものもありました。これは、囲みの口を現状、○を目標、◇を（イエス、ノーの）分岐、△を道筋として、矢印と囲みでつなげていくとまるでおでんのような形になります。企業でも使われているそうです。

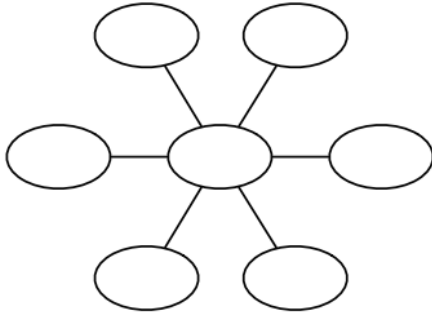
ベン図 比較・分類に使用



- ・比較する
- ・分類する



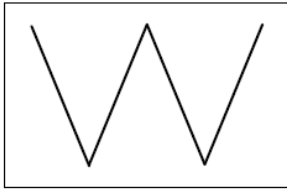
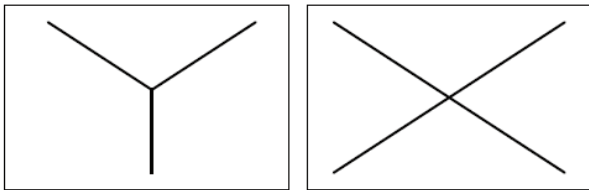
イメージマップ (ウェビング) ※頭の奥にある知識やイメージを広げるときに使用



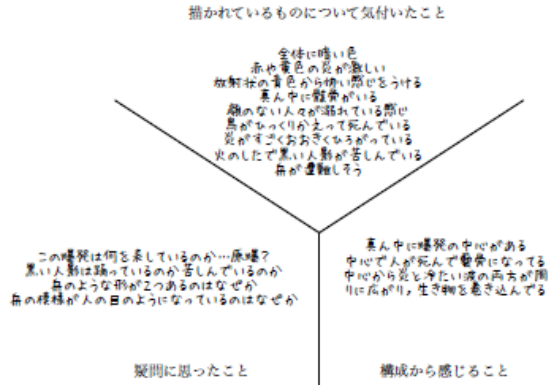
- ・アイデアを出す
- ・広げてみる
- ・関係づける
- ・関連づける
- ・評価する



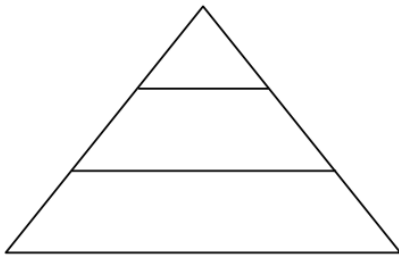
W・X・Y・チャート ※多角的に見るために使用



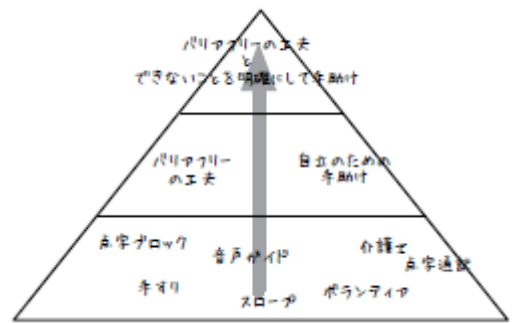
- ・多面的に見る
- ・多角的に見る
- ・アイデアを出す
- ・焦点化する



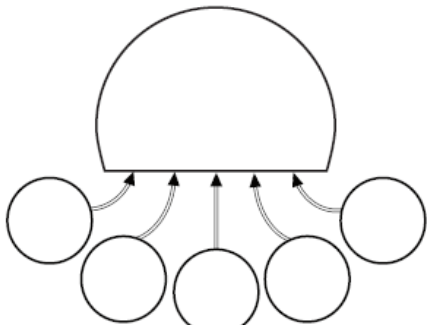
ピラミッドチャート ※焦点化・構造化のために使用



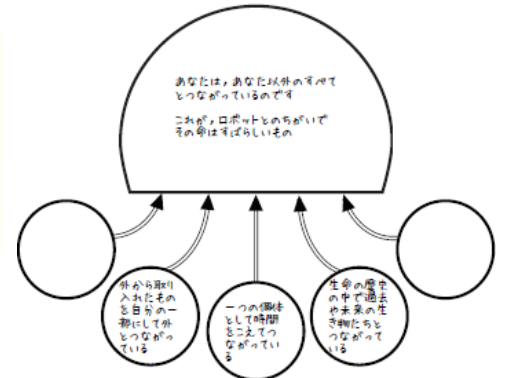
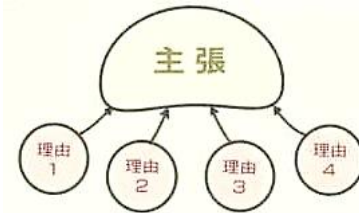
- ・焦点化する
- ・構造化する



クラゲチャート ※関連付け・要約のために使用



- ・理由づける
- ・関係づける
- ・要約する



まだまだありますが、代表的なものを紹介しました。今回の「思考ツール」を友達同士や親子同士等で、楽しみながら活用していくことをお勧めします。